

婦人関係資料シリーズ

参考資料 No. 45

協同活動についての意識調査

結 果 速 報

労働省婦人少年局

は し が き

第十回婦人週間が「正しい協同活動を通して婦人の力を役立たせる」ことを目標として実施されるに当って、労働省婦人少年局では週前に先立って、「協同活動についての意識調査」を実施しました。ここにその結果のあらましをとりまとめて婦人週商用資料の一つとして御参考に供します。

昭和 33 年 3 月 20 日

労働省婦人少年局

目 次

はしがき	1
I 調査の概要	3
II 調査結果の要点	3
III 調査の結果	5
1. 年 令	5
2. 続 柄	5
3. 子供の数	6
4. 団体への加入状況	7
5. グループへの参加状況	9
6. 役 員	10
7. 団体のことでかける回数	11
8. 会からの通知の回数	13
9. 団体に入らない理由	14
10. 団体へ加入をすすめられたときの態度	15
11. 婦人会の仕事のしかたについて	17
12. 地域の協同活動について	17
13. 婦人週間を知っているか	20

I 調査の概要

1. 調査地点

層別無作為抽出によって、全国から50の市町村を選定した市部から26地点、郡部から24地点が選ばれた。

2. 調査対象者

調査対象者数

20才以上の女子 2,000名 (1地点40名)

回収数 1,933名

調査対象者のえらび方

調査地点にえらばれた各市町村の投票区の中から、人口比例法によって一投票区を無作為に抽出し、その投票区の女子有権者の中から40名ずつを、等間隔抽出法によって選び出した。

3. 調査の方法 面接法

4. 調査時期 昭和33年2月

II 調査結果の要点

団体への加入状況

各種の団体を通して、団体への加入率は、市部60%、郡部66%で、二つ以上の団体に加入するものは、市部では加入者の40%、郡部では55%である。団体の種類別に見ると地域的な団体に加入するものが全対象者の57%でもっとも多く、有志団体、地域団体、学能団体への加入率はいずれも10%以下である。

グループへの加入者は全体の13%である。

団体活動への参加の程度

団体やグループに加入しているもののうち役員や世話役にな

(4)

っているものは、市部、郡部ともに約20%である。
 団体やグループのことででかける回数は、月1回以上のものが全体の40%（その大部分が月1〜2回）、1回未満のものが40%、全くでかけないものが10%余である。

団体加入における自主性

気がすすまないのに団体に入ることをすすめられたときどうするかという質問に対して「親しい人」からすすめられた場合は、26%が「親しい人」からの場合は34%が、「はい」といっており、名前だけでもとれた場合は「はい」は30%となっている。

会員としての役割意識

婦人会の仕事のしかたとして、会員一人一人が会の仕事をうけもつやり方と、役員だけかするやり方とをくらべて、前者の方がよいというものは50%後者の方がよいというものは25%である。

地域における実践への関心

地域の問題で婦人同志が力を合せて何とかしたらよいと思うことがあるかという質問に対して「ある」というものは市部20%、郡部30%である。具体的には、「婦人の教養を高めるための集会」、「町の清掃や環境衛生の改善」、「子供の遊び場や託児施設の設置」などの問題が市部、郡部を通じて多く出された。

婦人週間を知っているか

婦人週間を知っているかという問に対して「知っている」といったものは市部50%、郡部42%であった。

(5)

Ⅲ 調査の結果

1. 年 令

調査対象者の年令分布は、30才台の層がもっとも多く全体の3割弱、次いで20才台、40才台、50才台、60才台以上の順となっており、60才以上は約1割である。市部と郡部とではほとんど差がない。

	総 数		20才台	30才台	40才台	50才台	60才以上	不明
	人数	%						
計	1933	100	24	27	22	16	11	0
市 部	999	100	24	28	22	16	11	—
郡 部	934	100	23	27	23	17	10	0

なお、この調査を次表の昭和30年国勢調査における20才以上の女子人口の年令分布に比較してみると、20才台と60才以上の層が、この調査では国勢調査より少くなっている。すなわち、この調査の対象者は、中年の層に多少かたよっていると思われるであろう。

	総 数	20才台	30才台	40才台	50才台	60才～
計	100%	30%	23%	18%	13%	15%
市 部	100	32	24	18	13	13
郡 部	100	28	22	18	14	17

(昭和30年国勢調査1%抽出集計結果より作成)

2. 家 柄

妻が全体の65%で大半を占めており、娘、母及び本人は10

(6)

%内外、嫁、姉妹及び“その他”はいずれも5%以下である。市部、郡部別では、嫁が市部2%、郡部6%で、郡部の方にやや比率が高いほかは、ほとんど差がない。

	総数		本人	妻	娘	母	嫁	姉妹	その他	不明
	実数	%								
計	1933	100	7	65	12	8	4	2	2	0
市部	999	100	8	67	11	7	2	2	2	0
郡部	934	100	6	64	12	8	6	1	2	—

(注) 0は0.5%未満を示す。

3. 子供の数

2. 同居する子供の数

全対象者の89%に当る既婚者のうち、同居する子供を1人もつものかもっとも多く約3割、次いで、2人、3人、4人、5人以上と少くなっている。同居する子供のないものは1割である。市部と郡部を比較すると、市部では同居する子供のないものも含めて、2人以下のものが約7割を占めているが、郡部では、2人以下のものと、3人以上のものはおよそ半々である。

(同居する子供の数)

	既婚者数		0人	1人	2人	3人	4人	5人～	不明
	実数	%							
計	1715	100	10	27	23	19	10	10	1
市部	885	100	12	29	26	17	9	7	1
郡部	830	100	8	24	21	21	12	13	0

(7)

2. 学令に達しない子供の数

市部、郡部の合計では、学令に達しない子供の1人もないものが64%、1人のものが21%、2人のものが12%、3人以上が2%となっている。市部、郡部別では、1人もないものと1人だけのものは郡部より市部にやや多く、2人以上のものは郡部に多い。

(学令に達しない子供の数)

	既婚者総数		0人	1人	2人	3人～	不明
	実数	%					
計	1715	100	64	21	12	2	1
市部	885	100	66	22	10	2	0
郡部	830	100	62	19	14	3	2

4. 団体への加入状況

1. あなたは何かの団体に入っていますか？

a. 町(村)の婦人会や青年団とか P.T.A. などのようなこの土地に住む人たちでつくっている団体に入っていますか？

b. そのほか地域に関係なく何かの目的をもって集まっている団体(たとえば、主婦連、婦人有権者同盟、矯風会、友の会、政党婦人部、未亡人団体のような団体)に入っていますか？

c. また、職場の労働組合や、同じ職業のものの団体(たとえば看護協会、美容師連合会のようなもの)に入っていますか？

支部では60%、郡部では66%の婦人が何かの団体に入っている。二つ以上の団体に入っているものの割合は、市部では24%、郡部では36%で、郡部の方に多い。団体加入者1人

(8)

当りの平均加入団体数は、市部では1.5団体、郡部では1.8団体である。

(団体への加入状況)

	総 数		入って いない	入 っ て い る						1人平均 加入団 体数	
	実数	%		小計	1団体	2団体	3団体	4団体	5団体		6団体～
計	1933	100	37	63	33	21	7	2	0	0	1.66
市部	999	100	40	60	36	18	5	1	—	—	1.51
郡部	934	100	34	66	30	23	8	4	0	0	1.81

以上は各種団体を通しての加入状況であるが、団体の種類別の加入状況は次のようである。

① 地域団体への加入状況

市部では約50%、郡部では約60%のものが地域的な団体に入っている。二つ以上のこの種の団体に入っているものは市部では20%、郡部では32%である。

(地域団体への加入状況)

	総数		入って いない	入 っ て い る				
	実数	%		小計	1団体	2団体	3団体	4団体
計	1933	100	43	57	32	18	6	1
市部	999	100	47	53	33	16	4	0
郡部	934	100	37	63	30	21	9	2

② 有志団体への加入状況

有志団体に加入するものの割合は、市部、郡部ともに5%内外である。二つ以上の団体に入っているものは極めて少い。

(9)

(有志団体への加入状況)

	総数		入って いない	入 っ て い る			
	実数	%		小計	1団体	2団体	3団体～
計	1933	100	95	5	5	0	0
市部	999	100	96	4	4	0	0
郡部	934	100	92	7	7	0	—

③ 地域団体、地域団体への加入状況

全対象者の7%が地域団体・地域団体等に入っている。市部、郡部別にみると、市部では10%、郡部では4%の加入率となっており、市部の方が多い。

(地域団体、地域団体等への加入状況)

	総数		入って いない	入 っ て い る			
	実数	%		小計	1団体	2団体	3団体～
計	1933	100	93	7	7	0	—
市部	999	100	90	10	9	0	—
郡部	934	100	96	4	4	0	—

5 グループへの参加状況

問2 それでは、団体といったほどのものでなくても、何かの目的をもった婦人のグループ（たとえば内職グループ、生活改善グループ、読書会、たのもし講など）に入っていますか？ どんなグループですか？

グループへの加入者は全対象者の13%である。市部、郡部

別では、市部10%、郡部17%となっており、郡部の方が加入率がやや高い。二つ以上のグループに属しているものは、市部、郡部ともに極めて少数である。

(グループへの参加状況)

	総数		入っていない	入っている					
	実数	%		小計	1団体	2団体	3団体	4団体	5団体～
計	1933	100	87	13	12	1	0	—	0
市部	999	100	90	10	9	0	0	—	0
郡部	934	100	83	17	15	2	0	—	—

なお、前記1の各種団体、及びグループを通しての加入状況を次の表によってみると、全対象者の65%が、何らかの団体又はグループに属している。前記1における団体への加入率は63%であるから、その差の2%はグループのみに属する人々である。

(団体及びグループへの加入状況)

	総数		入っていない	入っている								1年平均加入団体数
	実数	%		小計	1団体	2団体	3団体	4団体	5団体	6団体	7団体～	
計	1933	100	35	65	31	20	9	4	1	0	0	1.83
市部	999	100	37	63	34	18	9	2	—	—	0	1.64
郡部	934	100	32	68	27	22	10	7	2	0	—	2.03

6 役員

問3 [問1、問2の団体のどれかに入っている人に] いまあなたは役員か世話役になつていますか？ どんな役です

か？

団体やグループに属しているもののうち、役員か世話役になっているものは、市部、郡部を通して約20%である。二つ以上の団体で役についているものは少く、3%前後である。(役員か世話役になっているか)

	団体グループ参加者総数		役についていない	役についている				
	実数	%		計	1団体	2団体	3団体	4団体
計	1259	100	79	21	18	3	0	—
市部	625	100	80	20	16	4	0	—
郡部	634	100	77	23	21	2	—	—

7 団体のことでかける回数

問4 [問1、問2の団体のどれかに入っている人に] 今のことでかけるのは、月のうち、あるいは年に、何回ぐらいですか？

団体やグループのことでどの程度でかけるかを全加入者についてみると、月に1回乃至2回程度のものが全体の30%でもっとも多く、次は年に1〜2回の約20%である。月に1回以上のものは全体の約40%、1回未満のものも40%で、全くでかけないものは13%である。

次に、役についているものについていないものの別、及び市部、郡部の別でみよう。まず役についているものは、市部、郡部ともに、半数近くのものか月に1回〜2回程度でかけており、残りの約半数のものは、市部では月3回以上のものが約2割、月1回に満たないものが約3割であるが、郡部ではその割合が

並となり、月3回以上のものが3割、月1回未満のものが2割となっている。

役についていないものは、市部では、月1回以上でかけるものが約2割、月1回未満が約5割、でかけることはないというものが2割である。郡部では、月1回以上が4割弱、1回未満が4割強、全くでかけないものは1割強である。

すなわち、役についているものも、ついていないものも、市部より郡部の方がでかける率が高い。

(会のごとででかける回数)

	合 計	市 部				郡 部			
		計	役 に		計	役 に		計	役 に
			ついて	ついて		ついて	ついて		
			いる	いない		いる	いない		
総 数	100% (1259)	100% 625	100% 125	100% 500	100% 634	100% 143	100% 491		
年	1~2回	17	16	5	20	17	4	20	
	3~4回	10	10	5	11	10	5	11	
	5~6回	6	4	6	4	8	8	8	
	7回~	7	11	15	10	4	4	4	
月	1~2回	30	24	45	18	37	49	34	
	3~4回	6	5	11	3	7	23	3	
	5~6回	2	2	2	1	1	1	1	
	7~10回	0	—	—	—	1	2	—	
に	11~15回	0	—	—	—	1	3	—	
	16回~	0	0	1	—	—	—	—	
不明	13	16	3	20	7	1	12		
不明	8	11	1	13	5	—	7		

(注) ニつ以上の団体に加入しているものについては、団体別の回数を合計した。

8. 会からの通知の回数

問5、〔問1、問2、の団体のどれかに入っている人に〕 会員が会合のことや会合している仕事などについて知らせを受けるのは、月に、あるいは年に、何回ぐらいですか？

団体やグループに加入しているもののうち、市部では約3割、郡部では約4割のものが月に1回乃至2回程度団体から通知を受けており、市部、郡部ともに月3回以上のものはおよそ1割、月1回未満のものは4割前後である。

(会からの通知の回数)

	合 計	市 部		郡 部	
		計	市 部	計	郡 部
総 数	100% (1259)	100% 625	100% 634		
年	0回	4	5	3	
	1~2回	10	11	10	
	3~4回	9	10	9	
	5~6回	8	6	10	
月	7回~	9	11	6	
	1~2回	36	31	42	
	3~4回	8	9	8	
	5~6回	3	2	3	
に	7~10回	1	—	2	
	11~15回	0	—	0	
	16回~	0	0	—	
不明	11	15	7		

(注) ニつ以上の団体に加入しているものについては、各団体からの通知回数を合計した。

9. 団体に入らない理由

向 1. e (一つも団体に入っていない人に) どうして入らないのですか?

団体に入らない理由としては、“ひまがない”というものがもっとも多く、市部、郡部ともに3割前後、次いで“すすめられたことがない”というもの、社会的関心がうすいためとみられるもの、“地域に団体がなから”というものの順となっている。“その他”の答の内訳は、“嫁が入っているから”“母が入っているから”“年をとっているから”“病身だから”“土地になじみがないから”などである。

(団体に入らない理由)

	団体に入っていないもの数		この辺には団体がない	すすめられたことがない	社会的関心がうすい	今の婦人会のあり方が好きでない	ひまがない	その他	不明
	実数	%							
計	697	100	11	21	14	3	30	34	3
市部	397	100	12	25	16	2	33	28	2
郡部	300	100	9	15	12	3	25	41	3

(注) 二つ以上の理由を答えたものがあるため、各項目の計は100%をこえる。

(15)

10. 団体へ加入をすすめられたときの態度

向 6. あなたが気がすすまないのに会に入ることをすすめられているとします。

a. もしあなたを親しい人から入るようにすすめられたら、どうしますか?

b. もし家の人から入るようにすすめられたらどうしますか?

c. 名前だけでも入って下さいと頼まれたらどうしますか?

気がすすまないのに“親しい人”から団体に入ることをすすめられた場合、“はいる”というものは全対象者の約25%、“はいらない”というものは約60%である。

次に、同じことを“家の人”からすすめられた場合は、“はいる”が34%、“入らない”が53%で、“親しい人”からの場合より、すすめに従う率が高い。

さらに、名前だけでもとたのまれた場合、“はいる”ものは約30%、“はいらない”ものは約60%となっている。

市部と郡部を比較してみると、三つの場合ともに“はいる”というものは郡部に多く、市部との間にいずれも約10%のひらきがみられる。

(既しい人からすすめられた場合)

	総 数		はい	はいらない	その他	不 明
	人数	%				
計	1933	100%	26%	62%	11%	1%
市 部	999	100%	22%	66%	11%	2%
郡 部	934	100%	31%	57%	12%	0%

(家の人からすすめられた場合)

	総 数		はい	はいらない	その他	不 明
	人数	%				
計	1933	100%	34%	53%	11%	2%
市 部	999	100%	28%	56%	13%	3%
郡 部	934	100%	41%	49%	9%	1%

(名前だけでも入って下さいと頼まれた場合)

	総 数		入る	入らない	その他	不 明
	人数	%				
計	1933	100%	31%	58%	9%	1%
市 部	999	100%	26%	63%	9%	2%
郡 部	934	100%	36%	54%	9%	1%

11. 婦人会の仕事のしかたについて

向ア. ここに二つの婦人会があります。

甲の会では、会員の一人一人が会の仕事を何かうけもち
 ので、この会に入ると、会のために多少時間をとられると
 いうことです。

乙の会では、会の仕事はおもに役員がするので、ただの
 会員は会のために時間をとられるようなことはほとんどあ
 りません。あなたは会のやり方として、どちらのやり方が
 よいと思いますか？

“甲の方がよい”というものは全体の約50%，“乙の方が
 よい”というものは約25%，“一がいにいえない”が約10
 %となっており，“分らない”ものが10%余ある。市部と郡
 部とではほとんど差がない。

(婦人会の仕事のしかたについて)

	総 数		甲の方が よい	乙の方が よい	一がいにいえない	分らない	不 明
	人数	%					
計	1933	100%	49%	26%	11%	13%	0%
市 部	994	100%	49%	25%	12%	15%	0%
郡 部	934	100%	50%	28%	11%	11%	1%

12. 地域の協同活動について

向8. あなたの住んでいるこの地で、皆の困っていることなど
 で、婦人同志が力を合せて何とかしたらいいとお考えのこ
 とがありますか？ それはどんなことですか、具体的にい
 って下さい。

地域の向題で婦人同志が力を合せて何とかしたらよいと思
ていることが“ある”と答えたものは、市部2割、郡部3割で
全体では4人に1人の割合である。

あげられた向題の中から主なものをみると、“婦人の教養を
高めるための集りをもつこと”、“町の清掃や環境衛生の改善”
“子供の遊び場や託児施設の設置”などが市部、郡部共通して
多くあげられ、そのほか市部では“生活困窮者の救済”“道路の
整備、水はけ、下水などのこと”を向題にするものが多く、ま
た郡部では“生活改善、冠婚葬祭等の簡素化”をあげたものが
目立って多かった。

(婦人同志が力を合せて何とかしたらよいと思うことがあるか)

	総 数		何とかしたらよいと思うことが			
	集数	%	あ る	な い	分らない	不 明
計	1933	100	25	72	15	8
市 部	999	100	20	77	1	2
郡 部	934	100	30	68	2	1

(何とかしたらよいと思うことの内容)

	計	市	郡
	109.9%	100%	100%
	(475)	(198)	(277)
生活改善、冠婚葬祭等の簡素化	14	4	22
婦人の教養を高めるための集りや話し合い	12	1	17
子供の遊び場及び託児施設の設置	9	13	7
町の清掃や、環境衛生の向上	9	13	6
生活困窮者の救済、救済院への後助等	8	13	4
道路の整備、水はけ、下水等のこと	8	15	3
水道の設置、井戸も一々の協同施設	5	3	3
婦人が協力して、身近な向題を相談、解決したい(義桑郡の協同改事 等を含む)	4	4	4
子供のしつけ教育、及び青年男女の不良化防止	4	4	3
有意味な職業会(料理、おみもの)の開催	4	4	4
組織の設立、及び育成強化	3	1	3
封建性、悪習慣の打破	2	1	2
内閣の繰渡	2	1	2
購買組合と作り品物を安く購入したり、商店により品を安く買うよう要 望する。	2	3	0
たのしみ、顔、積立貯金などの助行	1	1	3
防火、防犯訓練の実施	1	2	1
その他	15	12	17

(注) ニつ以上をあげたものがあるため項目の計は100%をこえる。

13. 婦人週知を知っているか

向々、あなたは婦人週知というものがあることを御存知ですか？
 ？ どうして知りましたか？

婦人週知を知っているものと知らないものの割合は、市部では半々、郡部では、知っているものの方がやや多く、ほぼ4割とも割の割合である。

知った経路については、新聞やラジオで知ったというものが多く、婦人会や労組等の団体を通して知ったものは、市部で1割余、郡部が2割となっている。

(婦人週知を知っているか)

	総 数		知っている	知らない	不 明
	実数	%			
計	1933	100	46%	54%	0%
市 部	999	100	50	50	0
郡 部	934	100	42	58	0

(婦人週知をどうして知ったか)

	婦人週知を知っている者の総数		新聞	ラジオ	テレビ	雑誌	婦人会、音研、労組等の団体	他人及び 近所の人 から	ポスター、ビラ、パンフレット	その他	不 明
	実数	%									
計	884	100	56	51	1	4	15	6	2	2	1
市 部	495	100	59	53	2	4	11	5	3	3	2
郡 部	384	100	53	50	0	4	20	7	1	1	0

(注) ニック以上をあげたものがあるため項目の計は100%をこえる。

昭和33年3月20日 印刷

昭和33年3月25日 発行

発行者 労働省婦人少年局婦人課

印刷所 有限会社 工 文 社